



連載第 18 回

娘をやめていいですか？

藤南佳代 Kayo Tonan

www.bunsekisinri.com/blog

これを書いている 2017 年 2 月、「お母さん、娘をやめていいですか」という NHK の連続ドラマが話題を呼んでいます。「友達と一緒にいるより、お母さんという方が楽しい。お母さんが自分の一番の理解者。」という 25 歳の娘は、職場からでも、ちょっと困ったことがあるとすぐに母親に LINE で SOS 送信。聡明で献身的な母親は、すぐに、的確なアドバイスと暖かい声援を返信してくれます。二人はいわゆる「一卵性母娘」。価値観も趣味も共有して、相手の気持ちは顔を見るだけでわかる。そんな仲よし母娘の平和な関係が、娘の恋愛によって、大きく揺さぶられて崩壊の危機がやってくる、という話。

「優しくて素敵で、いつもわたしのことを考えてくれているお母さん」の存在が、実は、「限りなく重い」ことに気づいてしまった時、そこからいろんなものが見えてきます。自分になりたくてなったつもり的高校教師という職業は、母が果たせなかった夢だったし、たくさん持っているワンピースは、どれも「母の」好みで、よくよく考えてみれば自分はワンピースそのものが好きじゃない！ 知らないうちに、すっかり母にコントロールされて、母の思いどおりに動く人形のように生きてきた自分・・・。

子供に無関心だったり否定的だったり拒絶的だったりする「ネガティブな母親像」に対して、子供思いで、子供に尽くすタイプの母親は、社会でも個人レベルでも肯定的に認められるので、「あなたのためを思っている」母親の言葉に逆らうことは容易ではありません。しかし、母の「無償の愛」は、本当に無償なのでしょうか。

「幸せになってね。(でも、わたしを置いて行かないでね。)」
「幸せになってね。(でも、わたしだって幸せになりたかったのに。)」

母の発する言葉に含まれる、矛盾する無意識のメッセージを、子供は無意識に感じとり、「母の愛」に窒息しそうになることも少なくありません。



ドラマ (全 8 回) はインターネットで視聴できます。便利な時代になりましたね！

"May I Quit Being Your Daughter?"

Kayo Tonan, Jungian Psychoanalyst

Mom, May I Quit Being Your Daughter?" is the title of a Japanese TV drama series that is on the air at the moment. (2017.Feb) In Japan it is a social phenomenon that mothers and their adult daughters often have an excessively close relationship. Many daughters consider their own mother to be their best friend and they depend on their mother psychologically even after they get married. In this drama the daughter realizes that her life has really been organized and controlled by her mother. Mothers' love is very tricky, isn't it!?

こころの森

www.kokoronomori.se

- カウンセリング・心理療法 Psychotherapy
- カップルセラピー Couples Therapy, Marriage Counseling
- 精神分析・夢分析 Psychoanalysis, Dream Analysis
- コーチング・メンタルマネージメント Coaching

藤南佳代 (精神分析家・臨床心理士) Kayo Tonan

お茶の水女子大学大学院博士課程修了 Licensed Psychotherapist in Japan
スイス ユング研究所にて分析家資格取得 Diplomate Psychoanalyst in
Switzerland

スウェーデン国家資格取得 Legitimerad Psykoaterapeut iin Sweden

RÅDMANSGATAN 37, STOCKHOLM

Tel. 076 328 2500 Email: info@kokoronomori.se